



全農主催田んぼの生きもの調査（平成25年7月 神奈川県伊勢原市）

さあ、はじめよう！ 田んぼの生きもの調査

肌身で学ぶ 自然との共生

田んぼの中。子どもたちは、土のぬるぬるとした感触や、青い稲のちくちくとした感触を肌で感じながら、ゆっくりと足を運びます。カエル・メダカ・ヤゴ・ゲンゴロウ……
小さな生きものが無数に動いているのを見つけると、子どもたちは思わず大きな声を出します。手を伸ばして触れてみれば、そこに確かな命を感じることができます。自分たち以外の生きものの存在に気づき、仲良くなろうとすること。それが、自然との共生の第一歩です。

——全農は「田んぼの生きもの調査」に取り組んで、8年になります。この体験を通して、子どもたちは、田んぼが「お米をつくる場所」だけでなく、「生きものの命を育む場所」であることを知ります。時間がたつのも忘れて生きものを探す子どもたち、その傍らで見守るお父さんお母さん、生きものの様子や生態をわかりやすく教える講師、大事な田んぼを開放して学びの場を提供する生産者。多くの人によって、この活動は支えられています。

